

異常高温

水稻の刈遅れに注意!!

8月24日気象庁発表の1か月予報によると向こう1か月の平均気温は高い確率が80%で、8月28日発表の高温に関する早期天候情報によると今後2週間程度はかなりの高温が続く見込みです。

気温が高いと水稻の登熟が早く進行し、刈り遅れ等による品質低下が懸念されます。今年には例年以上の暑さとなっていますので、以下の対策を実施しましょう。

1 水稻の生育状況(農業技術研究センター玉井試験場)

作型	生育状況
早期栽培	5月1日植えの「コシヒカリ」では、出穂期は7月20日で平年より5日早まり、 収穫適期も前進化する見込み です。
早植栽培	5月20日植えの「彩のかがやき」では、出穂期は8月10日で平年より3日早まり、 収穫適期も前進化する見込み です。
普通期栽培	6月25日植えの「彩のきずな」では、出穂期は8月14日で平年より3日早まりました。

2 今後の技術対策

(1) 水管理

- ✓ 出穂後20日間は高温障害発生の危険時期です。
- ✓ 出穂期前後1週間は深水管理とし、その後は間断かん水を行い、根の活力維持に努めましょう。
- ✓ 間断かん水は3~4日おきに入落水を繰り返します。ただし大きなひびが入るような落水は避けてください。
- ✓ 早期落水は、品質低下を助長します。落水は出穂後30日経過してから行いましょう。
- ✓ 落水時でも高温で乾燥した風の吹くときは、走水程度にかん水しましょう。

**出穂後20日間は
水管理に注意!!**

**登熟積算気温
に注意!!**

品種別の収穫期(目安)

品種名 (登熟積算気温)	田植日	出穂期	収穫開始期 (目安)
彩のきずな (900℃)	5月14日	7月26日	8月24日頃
	6月21日	8月13日	9月14日頃
キヌヒカリ (早植:980℃ 普通期:950℃)	5月14日	7月28日	8月29日頃
	6月21日	8月14日	9月18日頃
彩のかがやき (早植:910℃ 普通期:1010℃)	5月14日	8月6日	9月6日頃
	6月21日	8月20日	9月29日頃

(2) 収穫

- ✓ 刈り遅れは胴割米や茶米の発生が増加し、品質を低下させます。
- ✓ 高温条件下での登熟は、刈取適期が前進するほか、子実の成熟よりも帯緑籾の減少が遅れます。このため、**出穂期後日数や帯緑籾歩合に関係なく、早めの収穫を心掛けましょう。**

こまめな水分補給と朝夕の涼しい時間での作業を心掛け、
熱中症を予防しましょう!

